

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名【新】ぎふかかみがはら航空宇宙博物館教育プラットフォーム事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111(内2936)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,990 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	14,990	0	0	0	0	0	0	0	14,990
決定額	14,990	14,990	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の来館者は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向。これに伴い、子どもたちの航空宇宙に関する学習機会も減少。
- ・こうした状況において、将来にわたり航空宇宙産業に興味を持ち、同産業の未来を担う人材を育成していくためには、ポストコロナに対応した教育コンテンツを提供できる環境の整備が必須であり、有識者からも多くの意見が寄せられている。

(2) 事業内容

- 空宙博ホームページにおける教育プラットフォームの構築
 - ・従来は印刷物で実施していた学年・年齢別教育教材を、WEB上で活用できる学習コンテンツに変換し、新たな教育プラットフォームを構築
- 県内企業、県内学校との連携によるオンライン授業・社会見学コンテンツ・プログラムの開発
 - ・航空宇宙産業に携わる県内企業の協力を得て、新たな校外学習プログラムとして「VR社会見学メニュー」を構築し、空宙博のDX対応を強化

(3) 県負担・補助率の考え方

県と市は、共同で博物館を所有し、運営することとしているところであるが、本事業は、DX対応の一環として県が主体的に実施するものであり、その効果が市の域を超えて波及するものであることから、県が全額を負担する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	14,990	プラットフォーム構築
工事請負費		
補助金		
その他		
合計	14,990	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用した小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を具体的な取組として位置付けている。

(2) 国・他県の状況

なし

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

博物館設置者として、DX化を進めるため、県が実施主体となることは妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

航空宇宙への興味喚起に繋がるコンテンツの充実により、子どもたちに航空宇宙への夢や魅力を伝え、航空宇宙に興味を持たせることで、航空宇宙産業の未来を担う人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
	(R1)	実績	目標	目標	(R5)	達成率
①博物館来館者数（人）	269,066	108,376	200,000	250,000	300,000	36%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	<p>新型コロナウイルス感染症の状況の中、DX対応の一環として、情報発信強化とコンテンツ充実を図ることは、子どもたちの航空宇宙に関する学習機会確保と空宙博の誘客促進に必要である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	